

新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業の概要

事業名	一般国道384号 三日ノ浦バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県南松浦郡新上五島町三日ノ浦 至：長崎県南松浦郡新上五島町相河			延長	2.0 km
<p>事業概要</p> <p>一般国道384号は、長崎県五島市を起点として同県新上五島町を経由して同県佐世保市に至る、延長9.9 kmの幹線道路である。三日ノ浦バイパスは、新上五島町を縦貫する延長約2.9 kmの一部を構成し、上五島地域の活性化に大きく寄与する道路である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>三日ノ浦バイパスは、幅員が狭く線形も屈曲し車両の離合が困難となっているため、安全かつ快適な自動車交通及び歩行者通行を確保することを目的に計画したものである。また、合併前の旧5町を連絡する道路であり、水産業・観光産業を主要産業とする新上五島町の活性化に大きく寄与するものである。</p>					
全体事業費	4.6億円		計画交通量	4,873台/日	
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見	
新上五島町から安全かつ快適な自動車交通による上五島地域の発展のため国道384号の早期整備を要望。	

事業採択の前提条件	
<p>便益が費用を上回っている（B/C 1.5）</p> <p>円滑な事業執行が整っている。</p>	

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.5	総費用：40億円 （事業費：39億円 維持管理費：1.5億円）	総便益：61億円 （走行時間短縮便益：56億円 走行費用減少便益：4.0億円 交通事故減少便益：0.62億円）	基準年 平成18年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.7 (交通量 +10%)	B/C=1.4 (交通量 -10%)		
		事業費変動	B/C=1.4 (事業費 +10%)	B/C=1.7 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C=1.5 (事業期間 +2年)	B/C=1.6 (事業期間 -2年)		
事業の影響	評価項目		根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	<p>当該区間の整備により、渋滞損失時間の改善が見込まれる。</p> <p>【渋滞損失時間の改善】 74,290人・時間/年（整備なし） 0人・時間/年（整備あり）</p>		
		事故対策	○	<p>当該区間の整備により、死傷事故率の改善が見込まれる。</p> <p>【死傷事故率】 ・59.4件/億台キロ（死傷事故率比（県内平均比）36.9%）</p> <p>【隘路区間の解消】 ・隘路区間の解消により、安全で円滑な交通の確保</p>		
		歩行空間	○	歩行者等の安全性の向上（今里小学校、青方小学校及び上五島中学校へ通学する生徒がおり、現在歩道がない状況で非常に危険であり、歩道を整備することにより、その安全性が向上する。歩行者交通量45人/日である区間の歩道幅員0m→2.5m）		
	社会全体への影響	住民生活	○	医療施設へのアクセス向上（第二次救急医療施設上五島病院への搬出時間短縮に寄与する道路である。） ：旧奈良尾町役場～上五島病院の所要時間 30分→27分		
		地域経済	○	特定地域振興重要港湾へのアクセス向上（中通島南部から青方港へのアクセス道路である：旧奈良尾町役場→青方港への所要時間28分→25分）		
		災害	○	第一次緊急輸送路として位置づけられている。		
環境		○	CO2排出量の削減 594t/年			
	地域社会	○	主要な観光施設へのアクセス向上（主要な観光施設である教会巡りのアクセス向上が図られる。）			
事業実施環境		○	<ul style="list-style-type: none"> 長崎県長期総合計画における整備の位置づけ 地元自治体の強い要望 			

採択の理由

<ul style="list-style-type: none"> 費用対便益が【1.5】と便益が費用を上回っている。 狭隘箇所の解消を行うことにより、生活圏の青方地区及び浦桑地区へのアクセス性が向上する。 歩道の整備により、歩行者の安全が図られる。 以上より、本事業を採択した。 	
---	--

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。